

事業報告書

1 法人の概要

(1) 建学の精神

伝統的治療技術の伝承と普及のため、東洋医学教育の確立と学術の振興を以て国民医療に資する。

(2) 学校法人の沿革

年月	区分	沿革
1926. 10	東京校	「東洋温灸医学院」創立
1931. 10	東京校	私立学校令により「東京高等鍼灸医学校」として認可
1948. 12	法人	文部省令により「財団法人東京高等鍼灸医学校」として認可
1949. 9	東京校	厚生大臣により鍼灸マッサージ師養成施設として「東京高等鍼灸学校」認可
1954. 3	熱海校	「東京高等鍼灸学校熱海分校」設立
1955. 5	熱海校	「呉竹マッサージ学校」と改称
1956. 11	法人	東京都知事より、財団法人を改組し「学校法人呉竹学園」として認可
1973. 9	熱海校	「呉竹鍼灸専門学校」と改称
1976. 9	東京校	専修学校（専門課程）として認可され「東京鍼灸柔整専門学校」と改称
1976. 9	熱海校	専修学校（専門課程及び高等課程）として認可
1986. 4	東京校	「東京医療専門学校」と改称
2002. 4	横浜校	熱海校を新横浜に位置移転、「呉竹鍼灸柔整専門学校」と改称
2009. 4	大宮校	「呉竹医療専門学校」設立
2014. 3	全校	設置する全課程において「職業実践専門課程」として認可

(2) 設置する学校・学科の学生数の状況（令和2年4月1日現在）

（単位：人）

学校名	学科名	入学定員	収容定員数	現員数	摘要
東京医療専門学校	鍼灸マッサージ科 I部	60	180	164	
	鍼灸科 I部	30	120	58	
	鍼灸科 夜間特修	30	90	68	
	柔道整復科 I部	60	180	119	
	柔道整復科 夜間特修	30	90	20	
	鍼灸マッサージ教員養成科	25	50	55	修業年限2年
呉竹鍼灸柔整専門学校	鍼灸マッサージ科午前コース	30	90	87	
	鍼灸マッサージ科午後コース	40	120	112	
	鍼灸科 特修コース	30	90	60	
	柔道整復科 午前コース	60	180	138	
	柔道整復科 特修コース	30	120	64	
呉竹医療専門学校	鍼灸マッサージ科 I部	60	180	158	
	鍼灸科 I部	30	120	27	
	鍼灸科 II部	30	90	64	
	柔道整復科 I部	60	180	160	
	柔道整復科 II部	30	90	52	

(3) 役員の概要 (令和2年4月1日現在)

定員数	理事	7名	監事	2名		
理事長	坂本	歩	監事	櫻井	弘	(非常勤)
理事	坂本	美穂	監事	永山	浩	(非常勤)
理事	齊藤	秀樹				
理事	村上	哲二				
理事	松原	哲				
理事	下光	輝一				(非常勤)
理事	高橋	克典				(非常勤)

(4) 評議員の概要

定員数	15名、理事以外の評議員8名は以下の通り					
評議員	太田	祥一	評議員	有澤	治	
評議員	中川	路桂	評議員	村瀬	訓生	
評議員	濱岡	隆文	評議員	八亀	俊一郎	
評議員	近藤	昌之	評議員	建石	泰三	

(5) 教職員の概要 (令和2年4月1日現在)

(単位：人)

区分	法人本部	東京医療 専門学校	呉竹鍼灸整 専門学校	呉竹医療 専門学校	呉竹メディカル クリニック	合計	
教員	本務		34	21	23	78	
	兼務		67	26	27	120	
職員	本務	4	13	5	8	19	49
	兼務		1	1	2	8	12

2 事業の概要

(1) 平成31年度の主な取り組み

各校において高等教育の就学支援新制度の機関登録を行い、在校生並びに新入生への取り扱いを開始している。臨床教育研究センターにおいて、学外臨床実習における各校での問題点を検証し、実習担当者と協業し対策を講じている。また、臨床実習指導者講習会を主管し、指導者の養成を図るとともに、実習受入施設の拡充と新カリキュラムの完成年度となる次年度の臨床実施に向けた準備を行った。

生徒のモチベーションアップとして、プロアスリートの現役トレーナーによる在校生向け特別講座（スーパートレーナー講座）を開講し、基礎編を修了している。次年度においては、さらに上級編を開講し、資格の取得や具体的な就職支援につなげることを予定している。また、一般の就職支援活動においては、具体的なマッチングを想定した企業紹介等を他機に行い、進学等を除き、100%の就職支援を達成することができている。

(2) 施設等の状況

① 現有施設設備の所在地等の説明

所在地	施設等	面積等	取得価額	簿価価額	摘要
新宿区四谷三栄町	校地	2,335.83 m ²	2,592,727千円	2,595,727千円	
	校舎4棟	3,532.26 m ²	2,058,810千円	1,413,559千円	
新宿区四谷1丁目	校地	807.79 m ²	949,350千円	949,350千円	
	校舎2棟	1,835.02 m ²	439,234千円	298,481千円	
新宿区四谷2丁目	校地	169.12 m ²	888,999千円	888,999千円	
	校舎	1,454.58 m ²	699,605千円	630,077千円	
渋谷区代々木1丁目	校地	640.17 m ²	3,603,672千円	3,603,672千円	

	校舎	2,663.18 m ²	1,646,109 千円	406,289 千円	
港北区新横浜 2 丁目	校地	661.00 m ²	492,600 千円	492,600 千円	
	校舎	5,427.70 m ²	1,147,920 千円	588,690 千円	
大宮区桜木町	校地	1,521.00 m ²	1,031,500 千円	1,031,500 千円	
	校舎	5,903.93 m ²	2,904,204 千円	2,265,240 千円	

② 主な施設設備の取得又は処分状況

四谷校舎新 1 号館竣工
 四谷校舎 1 号館・2 号間・3 号館・5 号館改修工事
 代々木校舎 1 階トイレ改修
 横浜校舎非常照明更新・施術所内器機等の交換
 大宮校舎教室用プロジェクター (23 台) 更新
 各校舎 PC 更新 (147 台)

(3) 財務の内容

1) 経年比較

① 貸借対照表

(単位:千円)

	平成 29 年度末	平成 30 年度末	本年度末
固定資産	18,050,885	18,169,406	18,878,467
流動資産	7,720,586	7,885,824	7,278,103
資産合計	25,771,471	26,055,231	26,156,571
固定負債	110,399	454,591	401,220
流動負債	675,262	766,062	701,657
負債合計	785,662	1,220,653	1,102,878
純資産合計	24,985,809	24,834,578	25,053,693

② 事業活動収支計算書

(単位:千円)

	平成 29 年度末	平成 30 年度末	本年度末
事業活動収入合計	2,389,053	2,212,549	2,244,754
事業活動支出合計	2,050,920	2,363,780	2,025,639
当年度消費収支超過額	-183,658	-218,518	-238,029
翌年度繰越消費収支差額	6,389,631	6,171,111	5,933,082

2) 主な財務比率比較

(単位:%)

比率名	算式	平成 29 年度末	平成 30 年度末	本年度末
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前収支}}{\text{事業活動収入}}$	14.1	-6.8	9.7
学生生徒納付金比率	$\frac{\text{学生生徒納付金}}{\text{経常収入}}$	89.6	90.0	89.5
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	51.9	54.1	52.2
経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	12.2	-1.3	10.1
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	1,143.3	1,029.3	1,037.2
純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債+純資産}}$	96.9	95.3	95.7